

2学年通信

Dreams come true

山形県立米沢興譲館高等学校

2学年通信 75号 通算 139号

2016.11.8 (火) 発行

東北新人・県新人・地区新人大会、科学の甲子園 結果速報！

昨夜、久しぶりに登校したところ素晴らしいニュースが多数ありましたのでお知らせします。

<ホッケー・東北選抜大会>

女子 第3位！ PS 来年のインターハイ出場&上位入賞できるようなチームに成長します。

<卓球・県新人大会>

男子シングルス K. Y さん (2年3組)

全国選抜代表決定戦を勝ち上がり全国選抜大会出場！

PS 「僕の記憶では卓球の全国選抜は初めてですね」と米興最年長勤務の小原先生がおっしゃっていました。なお、全国大会は3月に大阪で行われます。日本一目指して頑張れ！

学校対抗戦 男女ともベスト8 (3回戦)

<フェンシング・県新人大会>

女子個人 フルーレ 1位 W. A さん (2年2組) 優勝！

3位 K. A さん (2年2組)

エ ペ 1位 W. A さん ダブルで優勝！おめでとう。

2位 M. H さん (2年1組)

男子個人 エ ペ 2位 Y. A さん (2年4組)

学校対抗戦 女子 1位、男子 3位

<弓道・県新人大会>

女子団体 準優勝！ 3月に埼玉で行われる東日本大会に出場決定。

<バレーボール男子・地区新人大会>

準優勝！おめでとう PS 本当は米中破って優勝のはずだったのに情けない！ By 後藤由香先生

<科学の甲子園・山形県大会>

3年連続優勝！ なお、2位、3位も米興チーム独占しました。放課後、部活動が終わってから練習した成果が出ましたね。来年1月に筑波で行われる全国大会も優勝して来い！

鈴木晃彦先生の「保護者向け進路講演会」が昨日行われました。

文責 横山

2年生から53名、全体で140余名の保護者の方からご聴講頂きました。その感想をご紹介します。なお感想は全文では無く、一部編集させて頂きましたのでご了承下さい。

子供との将来に向けての向き合い方が、お話をお聞きして、改めて話ができるような気がします。経済的な事、家の事情など、これまでも話をしてはいますが、国立を目指してほしい親の希望を子供がどう受け止めているのか…。なかなか現実を見ていないような気がしていろいろ話をしています。しかし、本人の目指す方向性や希望を認めてあげて、応援していくことも、本当に必要なのだと感じました。あと1年半、そろそろ本気モードで勉強し始めている子供の1番の応援団になりたいと思います (2年理系の保護者)

本日この場に来て、去年もお話聞いたこと思い出しました。人は忘れるんですね。

そして、今回もとても刺激的なお話でした。我子は親と離れてからの人生の方がはるかに長くあることを再認識しました。わかり合える親子を目指します (2年文系の保護者)

“あいさつ”これは良く聞くことですが、顔を合わせて目を見ながら聞いたのははじめてです。これは幼稚園のときから言われていることで、やっぱり最も大切なことだとあらためて感じました。“勉強しろ”と言わないこと。これは、なかなか難しいです。高2の息子と真面目な会話をしようとしても逃げられてしまいます。従って、こちら勉強しろと言いたくなってしまいます。

“スマホ”これはコントロールしなければと思いました (2年理数科の保護者)

心打たれた、の一言に尽きます。日頃、子どもを応援しているようで追い込んでしまっているのではないかと、そんな声をかけることが支えとなれるのか悩んでいたことが、全て晴れた思いです。子どもが熱を持って夢に向かい、叶えるべく歩んでいけるために、親として信じて見つめていこうと思います。“米沢興譲館”の先生方のことも信じて頼りにしています。授業第一！ますます好きになり“ファミリー”として誇りに思い生活していきます。講演会、本当にありがとうございました。帰ったら、たくさん話をしようと思います。命がけで時間使います！ (2年文系の保護者)

A 大変楽しい講演会でした。年齢に関係なく、生き活きた生活をして親がすることが、子どもにとっても重要なことではないかと改めて考えさせられました。

B 今年も先生の話聞いて楽しかったです。子供に向き合う親の気持ち、覚悟があるのだなあ、と思いました。子供にはあーしろ、こーしろ、こーしてほしい気持ちばかりあるけれど、私は何かしているのかなとも思いました。毎日のお弁当づくり、がんばってやります。

(2年理数科。A, Bはご夫婦だと思われます？ 感想は裏面へと続きます)

長女も興譲館でお世話になり、今、看護師として働いている。

震災の年に入学し、たいへんな思いをして東北大での4年間を過ごした事。その間、親としても苦しかったが正しい道を選んだんだと確信できた。



次女は、今まだ道なかばで悩みも多いようだが、あいさつと親子の会話を大事にして、夢、実現に向けて後押ししたい。鈴木先生、来年も来て下さい（2年理系の保護者）

“今生きる親” “未来を生きる子供達” 私はその言葉の意味を違うようにとらえていたのかもしれないと思いました。自分のなりたいもの、進むべき道が定まっていないうる娘をみて、娘の口から出てくるやりたい事が、バカな事を言ってる、夢物語を話しているとしか思えませんでした。でも夢を見ることも、努力することも、失敗することも、叶わないと知ることも全て大切なのだと感じました。明日、娘が先生の講演を聞き、今おかれている状況に文句をいうのではなく、自分の力で変えること、変えようとする気持ちを持ってほしいと思って話を聞かせていただきました。昨年も聞いて良かったなあと思いましたが、今日もお話を聞くことができよかったです。ありがとうございます（2年文系の保護者）

本日はお忙しい中、貴重な話をしていただきありがとうございます。我が子がこれから自立して生きていくために、親としてしていかなければならないことが、はっきりと分かりました。帰ったら、すぐ実践できる“あいさつとスマホ”をしていきたいと思います。親としてがんばらなければいけない時だと思いました。本当にありがとうございます（2年理系の保護者）

息子に対して、又、自分に対して参考になる講演会でした。残り1年半、また結婚式までも考えさせられる内容でした。本当に来て良かったと思う講演でした。ありがとうございます。（2年理数科の保護者）

本日はありがとうございます。沢山の素晴らしいお話を伺うことが出来、心が洗われる思いです。今日のお話を参考に子どもと向き合い、もっと話をする時間をとる様にしたいと思います。（2年文系の保護者）

映像や音楽をところどころにはさんで、工夫・飽きさせない事とか、押し付けが強くなりすぎない事とか、うまく構成されてると思います。私自身としては、反面教師として、又、本質のところ、親と子として、似てしまっている、あらがえない所など理解しながら、話をし、話を聞き、ときに、がんばっている姿など見せられればと思います（2年理数科の保護者）



先週の金曜日から「東北高校選抜ホッケー大会」が川西町で開催されました。今回、米興女子ホッケー部は県新人戦を制覇して、2年連続3回目の出場を成し遂げることができました。女子部の創部は平成2年とお聞きしているので、歴史を鑑みれば「東北大会に出場できること」が、それ自体、素晴らしいことではありますが、部員達の目標ははじめから「全国選抜大会出場」でした。それは、朝倉コーチや私だけでなく、保護者の皆さんの目標もブレることなく同じ気持ちで今日まで励んできました。ですから、共に1勝1敗で迎えた最終日、沼宮内高校（岩手県代表）との試合は「皆の夢実現」を賭けた勝負でした。

実は学年通信で書くのはどうかな、と悩んだのですが、明日になると書けそうにないのであえて書くと、今回の新人戦は「悪魔に魂を売ってもいいから勝ちたい」と思ってやってきました。それは、毎年毎年ベストを尽くすという意味では同様なのですが、学年主任なった昨年、7人の部員が入部し、全員がホッケー未経験者ながら、これまで地道に努力を続けて成長してきたことを（自分の家族よりも？）ずっと身近に見てきたからです。ですから、この子達と全国に行けるのならどんな犠牲を払ってもいい。今年の私は常にそんな思いだったのです。

結果は残念ながら負けでした。おそらく、今の私がそうであるように、部員諸君は後悔と苦しさにまみれた夜を過ごしていることと思います。そう簡単に割り切れるものではない。思いの分だけ、気持ちの整理には時間がかかるものだと思います。本当は監督である自分が、部員諸君らの明日のための言葉を語るべきなのだろうけれど、そのとき真に思ったことはこれだけである。「全国へ行くには、もう少し努力や苦労が必要だ。そう教えてくれたのだろう。」これは当然、自分のことである。技術面や精神面でも、何かが足りなかったのか、過剰だったのか。また、県新人大会で勝利して驕った気持ちは無かったか、他者への思いやりの気持ちが欠如してはなかったか。このような、めくるめく反省は後を絶たない。勝っていればこんなに苦しむことは無かったのに。今頃は勝利の美酒に酔いしれて皆と笑っていただろうに…。と、ここまで書いて「そうか！」と思った。もし、勝利で終わっていれば、何も原因を考えることなく、全てを肯定して、何も変わらない自分が明日もいるはずだと。では、どちらの自分が将来にわたって世のためになれるのかと。やはり、書くことで整理されることもある。この通信は、まさに私のためにある？少なくとも悪魔に頼っているようじゃダメ。もっと信じられる自分にならなければ。結びに。

表紙のように、今回素晴らしい大会結果を得た。しかし、勝者よ、驕ること無く、涙を流した者たちの分まで努力せよ。涙した者たちよ、今回がゴールでは無い。あの鈴木晃彦先生もこう言っている。

「未来の果を知らんと欲すれば、その現在の因を見よ」と。

今日の講演が楽しみです。ホッケー部保護者会のスローガンは「東北を元気に！」です。何て素敵なのでしょう！

